

おなだか 勝 政治レポート

おなだか 勝 事務所 | 〒173-0024 板橋区大山金井町47-11 大山サンハイツ1階D号室 TEL 03-5926-8065 FAX 03-5926-8066
Mail onamasa.10.10@jcom.home.jp HP http://onamasa.com/

◇こんにちは、おなだか 勝です！ 日々、政治活動・地域活動を続けています！



大山での令和奉祝祭



地域の方々と板二中で朝の挨拶



中板橋駅前での街頭演説

◇消費税 10%に増税 10月1日 わかりにくい軽減税率の例

消費税が8%から10%に増税となりました。誰しも増税は好ましくありませんが、誰もが安心して暮らしていける社会保障制度の維持と持続可能な国家運営のためには致し方ないと政府は言います。

しかし、デフレ下での増税で景気が冷え込み、経済が落ち込み、企業経営が低迷して、給料が下がるようにでもなったらどうなのでしょう？税金の使い途が米国からの高い戦闘機の購入や無駄な公共事業投資では許されません。また保育の無償化で比較的所得の高い層は恩恵を受けるけれども、保育所の待機児童が減らないことで、さらなる格差が出ることも懸念されています。

夫婦揃って65歳から30年間生きると老後資金が2000万円不足するという金融庁の金融審議会報告書が話題になりました。夫婦揃って月額26万円強の支出をするというこの試算には疑問がありますが、国民全体で支え合うという社会保障に対する信頼感が揺らぐことはあってはならないことであります。

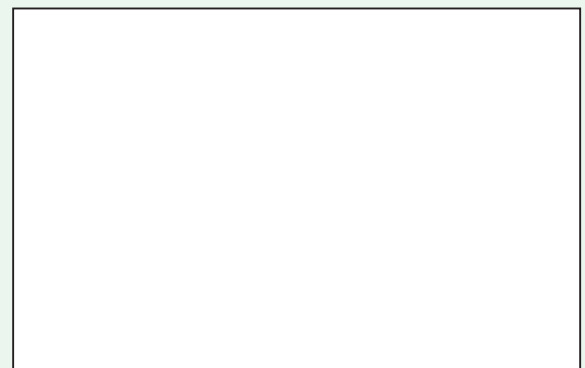
さて、増税に伴って軽減税率という制度が導入されました。同時に電子マネーによる決済での軽減も行われることでたいへん複雑な制度となりました。軽減税率という名前ではありますが、購入品目により、また決済方法により、さらには店舗の種別によっても税率が3%5%6%8%10%と異なる複数税率と言ってもよろしいと思います。コンビニ、スーパー、デパート等は新しいレジシステムに対応できていますので、消費者も店員も企業もレジの通りに支払いと決算を済ませればよろしいでしょうが、街の小規模小売店ではレジを買い換えられないなど対応に苦慮しているところもあります。私は軽減税率を止めて給付付き税額控除制度を導入すべきと主張しています。

8%	10%
ペットボトルの水	水道料金
配達される新聞	駅・コンビニで購入した新聞
コンビニで購入されて持ち帰る飲食物	コンビニで購入されて持ち帰る飲食物

◇◇臨時国会スタート 10月4日

臨時国会開会に合わせて、国民民主党・立憲民主党・社会保障を立て直す国民会議・無所属の皆さんが会派を共にすることとなり、衆議院では120人、参議院では61人の大きな「共同会派」が結成されました。我々は結党以来、大きな固まりとなって安倍政権に対峙すべしと主張していましたが、参議院選挙を経てようやく共同会派が実現することとなりました。

とはいえ、共同会派はあくまでも会派をともにするのみです。国民民主党は、民主主義を守る中道改革政党というスタンスのもと、参議院選挙で打ち出した家計第一の政策の実現を求めて参ります。



共同会派の初会合

◇どうなる、関西電力問題

関西電力の20人の役員らが2011年から2018年までに高浜原発のある福井県高浜町の元助役から約3億2千万円の金品を受け取った問題で信頼を失墜したとして八木誠会長ら7人が辞任することになりました。原発関連事業の発注側が関西電力で、受注側が元助役が顧問や相談役を務めた会社であり、このような金の流れがあるのですから、公平・公正が担保された契約とは到底思えません。電気料金の値上げ分が還流していたとしたら、また政治献金などを受けていた政治家が関与していたら大問題です。2011年以前についても含めて第三者委員会での説明が急がれると同時に他の原発マネーは大丈夫なのかの検証も必要です。

辞任7人の金品受領額

①八木誠会長	859万円
②岩根茂樹社長	150万円
③森中郁雄副社長	4060万円
④右城望常務執行役員	690万円
⑤鈴木聡常務執行役員	1億2367万円
⑥大塚茂樹常務執行役員	720万円
⑦豊松秀己功発役フェロー	1億1057万円

◇東武東上線大山駅西地区周辺のまちづくりは？

今、板橋区議会には大山駅周辺についての各種の陳情が提出されています。東京都と板橋区はそして板橋区議会の与党会派は推進派、その他は反対派として対立しているかのような構図であります。すべてに渡って、賛成・反対に分かれているわけではありません。

まずは戦後間もない時期に計画された補助26号線の延伸ですが、アーケードという大看板を持っている商店街にしてみれば、多額の費用をかけて作ったアーケードを外す決断など簡単にできるわけもなく、長い間、延伸に反対してきた事実があります。

しかし、26号線を延伸してハッピーロードと交差するクロスポイント再開発とそれに付随して計画されたピッコロスクエアの再開発事業を決断したのは地権者を中心とした地域の皆さんです。そしてその決断があったからこそ板橋区の悲願である東上線立体化が大山地域で認可されることに至ったわけです。ただ、この立体化については大山駅周辺の地元では地下化を期待していたわけで、高架化が費用が安いというだけで強行されて、大山駅前のアーケードまで外されてしまうことは看過できないということです。しかもこの高架化と地下化の費用の違いの約100億円はあくまで大山地域での費用の概算であって、成増まで延伸していくのであればずっと地下かずっと高架の費用を比較計算すべきであるわけで、到底納得がいかないというのが道理です。

そして3番目が駅前広場の設置計画です。住まいまたは仕事を奪う計画なのですから、個別に誠意を持った話し合いを丁寧に行っているのか大変疑問です。裁判で泥沼の争いを何十年も続けるようなことだけはして欲しくないという点でも計画の位置の変更も含めて、再考すべきです。その上で東上線の連続立体化は多くの区民が待ち望んでいる大事業であり、大山地域のまちづくりの成功が待ち望まれます。



◇国民民主党東京都連第2回臨時大会 10月7日

結党後一年以上を経過し、参議院選挙を経て東京都連の大会が開催され、全国比例区で初当選された田村まみ参議院議員を実行委員長に各議案が滞りなく承認されました。



川合会長挨拶



来賓：平野幹事長挨拶



大会アピール提案

<おなだか 勝 プロフィール> 昭和35年6月6日生まれ

- ・板橋区立大山小、板二中、小石川高校、東京学芸大教育学部卒
- ・平成7年5月～31年4月板橋区議会議員6期24年
- ・板橋二中同窓会会長、小石川紫友同窓会副会長、江戸神興幸會睦青年会会長、大山青少年剣友会顧問、板二中剣道部外部指導員
- ・国民民主党東京都連幹事長代理